※令和４年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　地理歴史科

教科	地理・歴史	科目	(学)近代までの世界史	単位数	４単位	年次	３年
使用教科書	世界史探究　（実教出版）						
副教材等	最新世界図説　タペストリー　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史は「暗記科目」とばかり思いがちであるが、そうなると世界史学習は苦しいだけになってしまう。テレビ番組や映画を見ていても、新聞や本を読んでも、あるいは音楽を聴いたり、劇場や美術館に行ったりしても、世界史を知っていると理解が深まることが多い。するといろいろなことに興味が湧いて、自分の人間としての幅を広げることにもなる。世界史の学習を通じて、将来、「国際人」として活躍する際に必要な素養を養ってほしい。また、現在の世界で起こっているできごとに興味・関心を持ち、学んでいる世界史とつなげて考えることも大切である。

実際の入試の場では、単語を覚えているだけでは正解を導けない問題も多く、「なぜ」「だから」ということを考えて楽しく学習することが、実は得点にもつながる。共通テストでは読解力も必要なので、世界史関連の本もどんどん読んでほしい。

2　学習の到達目標

３年では２年後期に学んだ古代の歴史をふまえて、中世・近世の歴史を学ぶ。ローマ帝国分裂後、中世前半のヨーロッパは新たに生まれたイスラーム勢力に対して守勢であったが、農業生産力の向上や人口増加に伴って外へと拡大始める。その延長線上にあるヨーロッパ人の海外進出によって、諸地域世界の交流がユーラシア規模から地球規模へと拡大したことを学ぶ。一方、このころアジアにはヨーロッパを脅かすほど大きな力を持った大帝国が存在していたことも確認する。これらの学習を通じてグローバルな視点を持って、各地域間の国際関係の変化について考察する。また、日本について客観的に見る目を養い、現在起こっている国際的諸問題に対する理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史についての基本的な知識を身につけ、その歴史的特質を理解している。	さまざまな歴史事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的・多角的に考察して表現している。	歴史事象の特質について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	定期考査 授業での発言	授業態度 （質問に対する答えなど） 定期考査 提出物	授業態度（積極的に参加しているかなど） 提出物 発問への反応

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
３年前期中間まで	第5章 西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成 第6章 イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変動	1 ビザンツ帝国とギリシア正教圏 2 ラテン＝カトリック圏の形成と展開 3 イスラーム圏の成立 1 イスラーム圏の多極化と展開 2 ラテン＝カトリック圏の拡大 3 ラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容	a：中世ヨーロッパ、イスラーム世界について基本的知識を身につけ、特質を理解している。 b：学んだ知識について、自分の言葉で表現できる。 c:「ヨーロッパ世界」の成立・変動過程やイスラーム世界の成立・拡大過程から課題を見出し、自ら意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 授業での発言	定期考査 授業での発言 提出物	授業態度 提出物 発問への反応
３年前期期末まで	第7章 中央ユーラシアと諸地域の交流･再編 第８章 大交易時代	1 中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 2 モンゴル帝国の成立 3 東南アジア諸国の再編 4 海域世界の展開と大交易圏の成立 1 明と東アジア 2 ヨーロッパの海外進出 3 大交易時代の海域アジア	a：モンゴル帝国や大航海時代について基本的知識を身につけ、特質を理解している。 b：学んだ知識について、自分の言葉で表現できる。 c:モンゴル帝国の意義や大航海時代による世界の一体化の意義の学びから課題を見出し、自ら意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 授業での発言	定期考査 授業での発言 提出物	授業態度 提出物 発問への反応
３年後期中間まで	第９章 アジア諸地域の帝国 第 10 章 近世ヨーロッパの形成と展開	1 中央ユーラシアと西アジアの帝国 2 南アジアの帝国 3 東南アジア諸国の発展 4 清と東アジア 1 ルネサンスと宗教改革 2 主権国家体制の成立 3 激化する覇権競争 4 近世ヨーロッパの社会と文化	a：アジアの大帝国や近世ヨーロッパについての基本的知識を身につけ、特質を理解している。 b：学んだ知識について、自分の言葉で表現できる。 c:アジアの大帝国と絶対王政時代のヨーロッパ諸国の関係について深く考察し、そこから課題を見出し、自ら意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 授業での発言	定期考査 授業での発言 提出物	授業態度 提出物 発問への反応
３年後期中間後	地球世界の課題の探求	1 紛争解決や共生 2 経済格差の是正や経済発展 3 科学技術の発展や文化の変容	a：歴史総合で学んだ知識を確認する。 b：３年で学んだ知識と結びつけて表現できる。 c:これまで学んだことを統合し、日本国民として世界的な課題にどのように取り組むべきか考える。	定期考査 授業での発言	定期考査 授業での発言 提出物	授業態度 提出物 発問への反応

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度